

司会 ありがとうございました。何かご質問ございますか？後で時間ございましたら宜しくお願いします。では続きまして崎村先生にお願いします。「急性期慢性期

のリハビリテーション」ということでお話をいただきます。よろしくおねがいします。

2 急性期および慢性期リハビリテーション

崎 村 陽 子

新潟リハビリテーション病院

Rehabilitation of the Acute and Chronic Stages

Yoko SAKIMURA

Department of Rehabilitation,
Niigata Rehabilitation Hospital

はじめに

高齢化と医療技術の進歩は、患者の重症化の傾向を高め、その結果障害を残す患者が増え、リハビリの必要性がますます高まってきている。一方、この間の医療改革は、病院の機能分化を急速に進め、もはや一カ所の医療機関のみで医療が完結することは難しい状態であり、入院医療は、急性期を担う病院から亜急性期・回復期を受け持つ病院へ引き継がれるようになってきている。急性期病院では在院期間が短縮されてきており、十分な時間をかけたリハビリをおこなうことは不可能な状況である。病病・病診連携が行われて久しいが、いまだ亜急性期・回復期のリハビリに関しては施設の整備が十分とは言い難い段階である。リハビリは、医師が必要と判断し処方依頼を出さない限り開始されない。急性期病院での医療においても常にリハビ

リを念頭に置くことが必要で、入院期間を考慮し次の病院でのリハビリがスムーズに行われるように配慮されなければならない。十分なりハビリを行えば社会復帰可能な人でも、集中管理後の廃用症候群の状態のまま次へ次の病院に転院するとそのまま寝たきりになりかねない。新潟県での急性期病院と慢性期病院でのリハビリの現状と問題点について考えてみる。

1 急性期病院の現状

1) 重症化と長期化

医学の進歩により重症患者が救命される割合が増えていること、また高齢化が進み基礎疾患を多くもつ患者が増え、再発例も多くなるなど長期に医療を要するようになってきている。長期臥床による合併症を予防するために、早期よりベットサイドでのポジショニング、呼吸器理学療法、関節可

Reprint requests: Yoko SAKIMURA
Department of Rehabilitation
Niigata Rehabilitation Hospital
761 Kizaki-Aza-Oyamamae,
Toyosaka 950-3304 Japan

別刷請求先：〒950-3304 新潟県豊栄市木崎字尾山前761
新潟リハビリテーション病院 崎村陽子